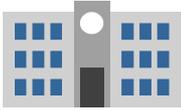




元気！塩沢っこ

二本松市立塩沢小学校
令和5年8月22日
第5号
発行責任者
校長 菅野芳弘



☆教育目標 子どもたちの思いや願いを生かしながら、「自分やふるさとに誇りをもち、努力できる子ども」を育成する。

○進んで学習する子〈知〉 ○明るく思いやりのある子〈徳〉
○最後までやりぬく子〈意〉 ○健康でたくましい子〈体〉

【重点目標】 塩沢っ子自己マネジメント力の育成



2学期85日間の教育活動スタート

ひっそりと静まり返っていた学校に、久しぶりに子どもたちの笑顔と笑い声が戻ってきました。本日、第2学期始業式を行いました。夏休み期間中、大きな事故や怪我等もなく、安全な毎日を過ごすことができました。また感染症や熱中症対策につきましても、各ご家庭で様々のご配慮をいただきましたことに感謝申し上げます。

新学期が始まったばかりですので、体調不良の場合は無理をせず、登校を控えるなどのご対応をお願いします。2学期も充実した教育活動ができるよう教職員一丸となって取り組みます。ご理解ご協力のほどよろしくをお願いします。

<第2学期始業式校長講話より（抜粋）>

校長先生は中学時代バスケットボールをやっていました。伊達地区の中でも、男子は強い方でしたが、女子は弱くて、一度も練習試合で勝つことができなかったのです。そして、中体連大会前にあまり強くないチームと最後の練習試合をしました。その試合に勝って、女子は初めて試合に勝つ喜びを経験しました。本番になりました。一回戦、女子は、なんとその強いチームに接戦の末勝ったのです。次は負けてしまうかなと思っていましたが、次々と勝ち進んだのです。決勝戦、女子の試合はすさまじい試合でした。最後までもつれる接戦だったのです。その試合も、女子は勝って、なんと優勝したのです。

なぜ試合で負けてばかりだった女子が優勝することができたのでしょうか？まず一つ言えることは、初めて練習試合に勝って、自分たちもやればできるという自信ができたからではないでしょうか？もう一つは、絶対に勝つという強い気持ちです。大会の時の女子は、別のチームになったかのように、気迫あふれる守りをして、相手に得点を与えないようにしていました。その必死さが伝わってきました。おそらくその気持ちの強さがほかのチームより上回ったのだと思います。

みなさんに伝えたいこと、それは、「目標を達成するために必要なことは、絶対に達成しようとする強い気持ちが大事」だということです。2学期のめあてが達成できるかどうかは、目標を絶対達成しようという強い気持ちを持つことで決まると思います。どうせ無理だと思うとそのとおりになってしまいます。あきらめずに粘り強くがんばることが大事です。